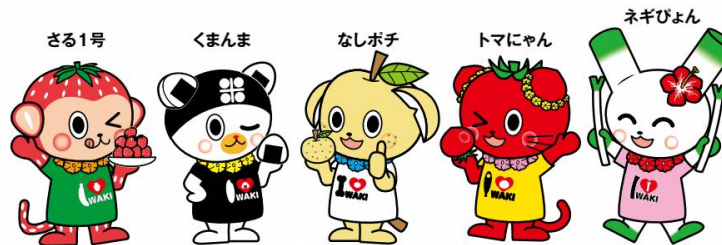


いわき地域の農業を支える担い手の確保・育成

いわき農林事務所農業振興普及部

# いわき地域の管内概況

いわき市：旧5市4町5村合併の広域都市  
人口 326千人 面積 1,232km<sup>2</sup>

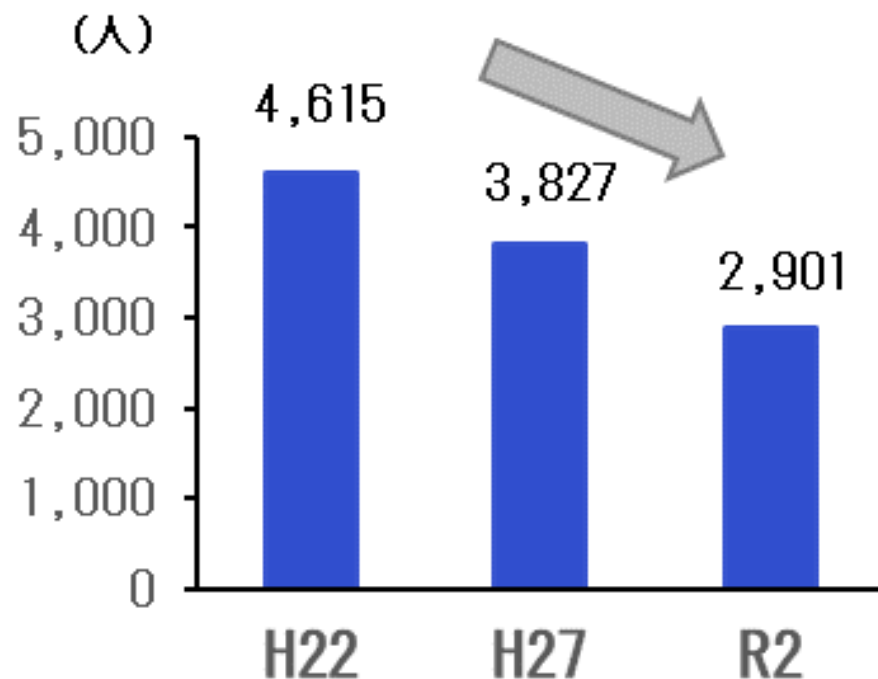


いわき農産物マスコットキャラクター：アグリ☆ファイブ



日照時間が年間2,000時間を超え、冬期の温暖な気候を生かした冬春野菜などが盛んな地域<sub>2</sub>

## 高齢化により農業担い手の減少が深刻化

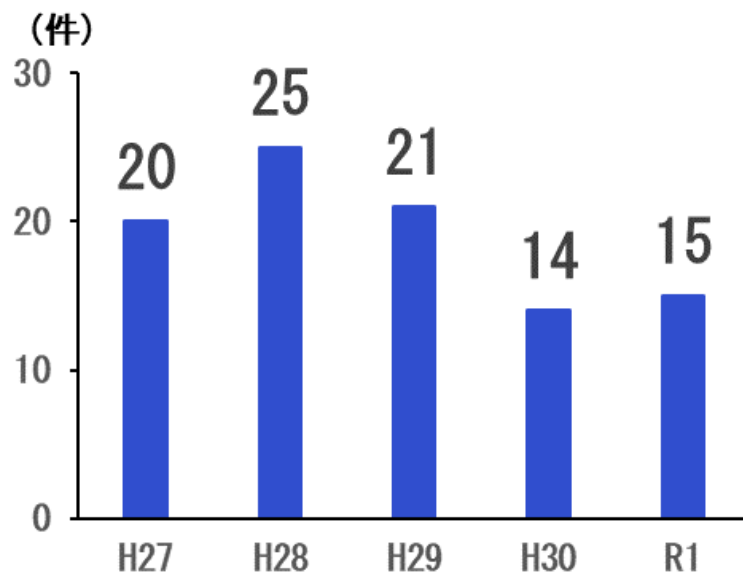


図A 基幹的農業従事者数の推移  
(農林業センサスより)

地域農業の維持・発展のためには  
**新規就農者を増やすことが喫緊の課題**

# 担い手の現状と課題 その1

## 相談から就農まで伴走型の支援体制が整っていない



図B 就農相談の推移  
(いわき農林農業振興普及部調べ)

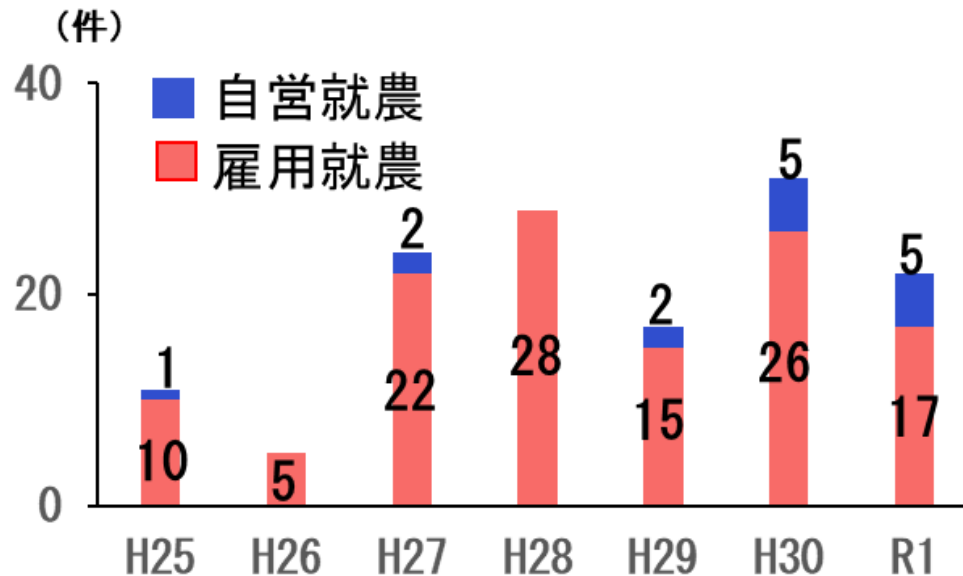


新規就農担当者

- ➡ 相談から就農に結びつく事例が少なかった
- ➡ 関係機関・団体が一体となった支援体制が必要

## 新規就農者の8割以上が雇用就農者

(全国平均17.8% (令和元年) 農林水産省新規就農者調査より)



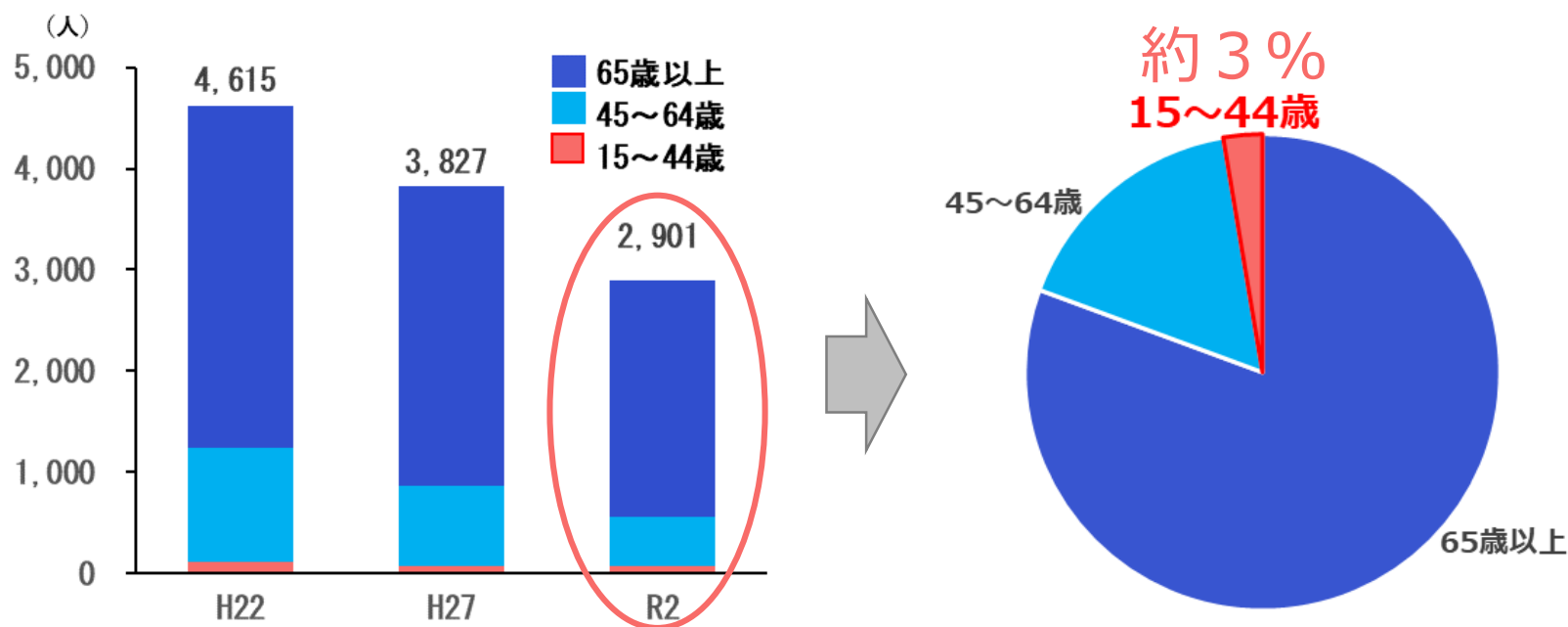
図C 新規就農者数の推移及び就農形態の内訳  
(青年農業者育成指導実態調査より)

➔雇用就農における課題の把握  
**法人経営体の育成が必要**

法人数88	内訳	有限会社19
		株式会社42
		その他 27

## いわき地域では若い農業従事者が少ない

(44歳以下の農業従事者の割合は県5%、全国8%を下回っている)



図D 年齢別基幹的農業従事者  
(農林業センサスより)

➡教育機関と連携を強化し  
若い新規就農者を増やすことが重要

- ① いわき地域における**支援・受入体制の整備**
- ② 雇用就農の受け皿となる**農業法人の育成**
- ③ **教育機関との連携**による**若い新規就農者の確保**



**新規就農者の増加により  
持続可能な農業担い手の確保**

# 活動内容

- (1) 支援・受入体制の整備に向けた活動
- (2) 雇用就農促進に向けた活動
- (3) 若い新規就農者の確保に向けた活動



# (1) 支援・受入体制の整備に向けた活動

## 担当者会議

いわき農林農業振興普及部  
いわき市  
農業委員会  
JA

令和3年7月

いわき地域就農支援センターが開設  
(事務局：いわき地域再生協議会)

伴走支援を開始



令和4年～

新規就農者等推進会議 (事務局：いわき農林農業振興普及部)

いわき市

補助事業・認定

JA

販売・融資

いわき農林農業振興普及部

全体のコーディネート、技術支援、等

指導農業士

技術支援

農業委員会

農地

農業振興公社

地域マネージャー  
就農コーディネーター

農地・就農全般

いわき地域就農支援センター

リモート就農相談の調整、等

移住コーディネーター

移住

## 活動のポイント

- ・ 就農に関わる全機関を構成員とし、役割分担を明確にした
- ・ 就農相談者の情報は迅速に共有し、就農まで進捗管理

# (1) 支援・受入体制の整備に向けた活動

## 会議の活動 リモート就農相談

いわき農林農業振興普及部

農業振興公社

移住コーディネーター

いわき市

指導農業士

JA

農業委員会

いわき地域就農支援センター

リモート相談

相談者

- ・ 希望者の情報をいわき地域就農支援センターへ集約
- ・ 相談内容に関わるすべての機関が参加

# (1) 支援・受入体制の整備に向けた活動



## 活動のポイント

- ・コロナ禍で、**対面を回避した**顔の見える**就農相談**
- ・**遠隔地**の相談者でも**対応可能**、**日程調整しやすい**

# (1) 支援・受入体制の整備に向けた活動

## 研修機関の整備



- ・ 指導農業士、農業者組織、JA 専門部会等への働きかけ
- ・ 研修計画の作成、研修環境の整備を支援



# (2) 雇用就農促進に向けた活動

## 農業法人訪問調査

### 訪問調査概要

対象	農業法人42件
目的	求人情報の収集 課題の把握
調査項目	今後の採用見通し 求める人材 雇用就農における課題 離職者の状況・理由 従業員の育成手法 新人の教育手法 など



### 活動のポイント

- ・ 調査と合わせて活用できる事業の紹介・提案
- ・ 調査で得られた情報はデータベース化し、雇用就農希望者等へ提供

# (2) 雇用就農促進に向けた活動

## 法人経営体の育成

### ○経営診断支援

- ・決算書に基づく財務分析、目標売上・単収の設定



### ○従業員向け研修会

- ・従業員向けの基本的な栽培技術に関する研修会

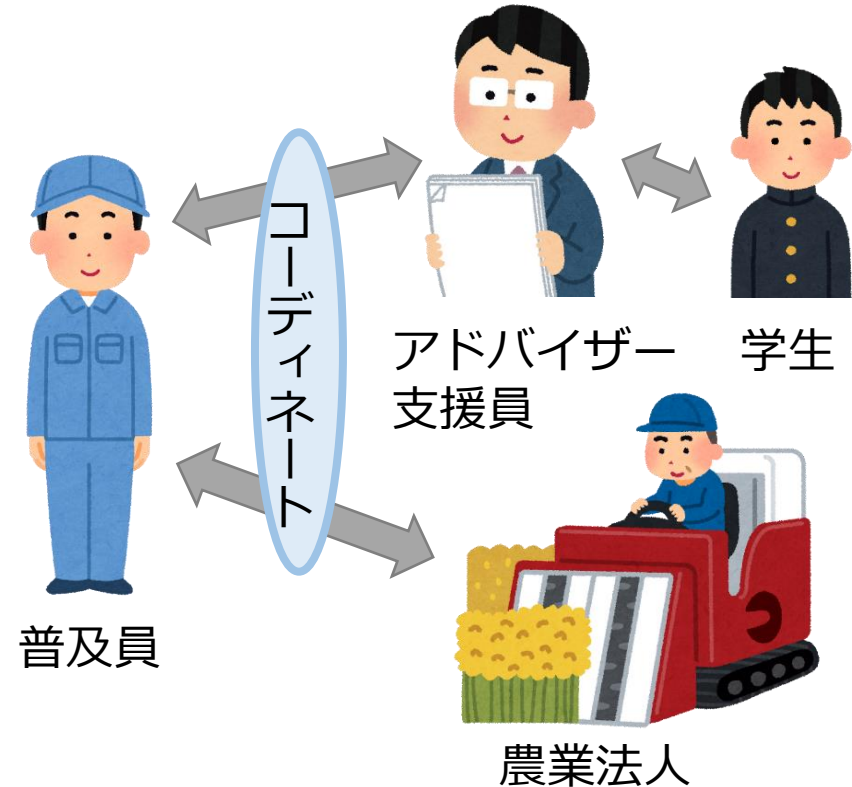
### ○営農開始5年以内の農業法人に対する重点支援

- ・概ね月1回以上の個別巡回指導



# (3) 若い新規就農者確保に向けた活動

県立高校の進路アドバイザー、農業短大の就農サポート支援員との連携を強化



## 活動のポイント

- ・ 普通高校にも情報提供
- ・ 高校の就職活動が始まる7月の前に情報提供



# (3) 若い新規就農者確保に向けた活動

## 農業高校生を対象とした講座の開催

- ・座学講座、農業収穫体験、農業インターンシップに延べ121名が参加





# 活動成果

# (1) 支援・受入体制の整備に向けた活動

## 関係機関・団体が一体となった伴走支援体制の確立

→ 相談者が就農するまでの状況を把握できるようになった



手厚いサポートで  
安心して就農できました

新規就農者

**研修機関の増加** 令和2年1件⇒**令和4年5件**  
(1品目) (有機栽培を含む**4品目**)

→ 相談者へ提案の幅が広がり、相談のニーズに対応可能

# (1) 支援・受入体制の整備に向けた活動

## 就農相談の増加

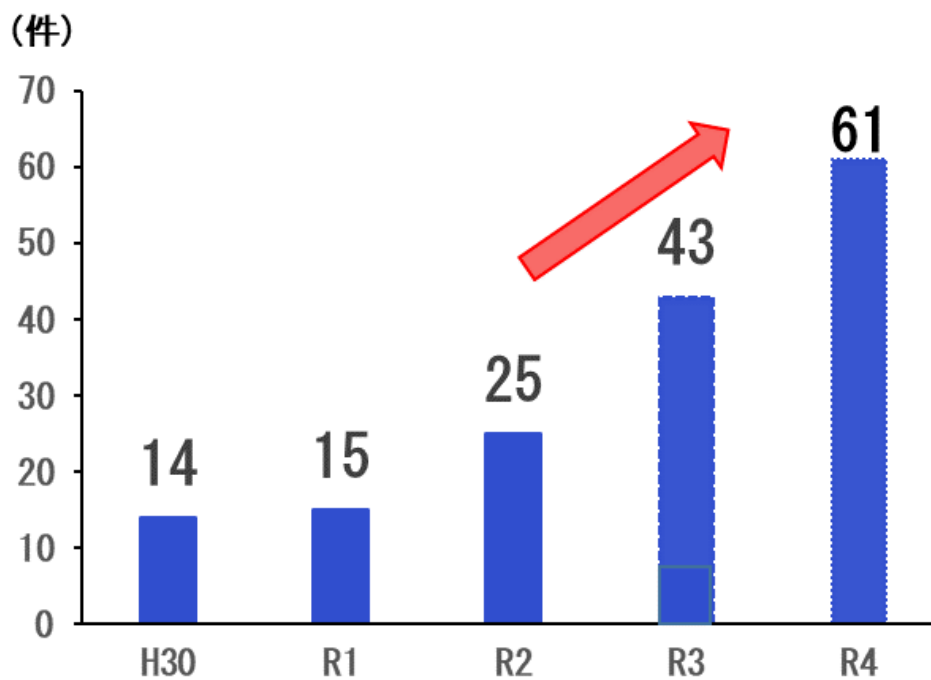


図1 就農相談の推移  
(R4.12末時点 いわき農林農業振興普及部調べ)

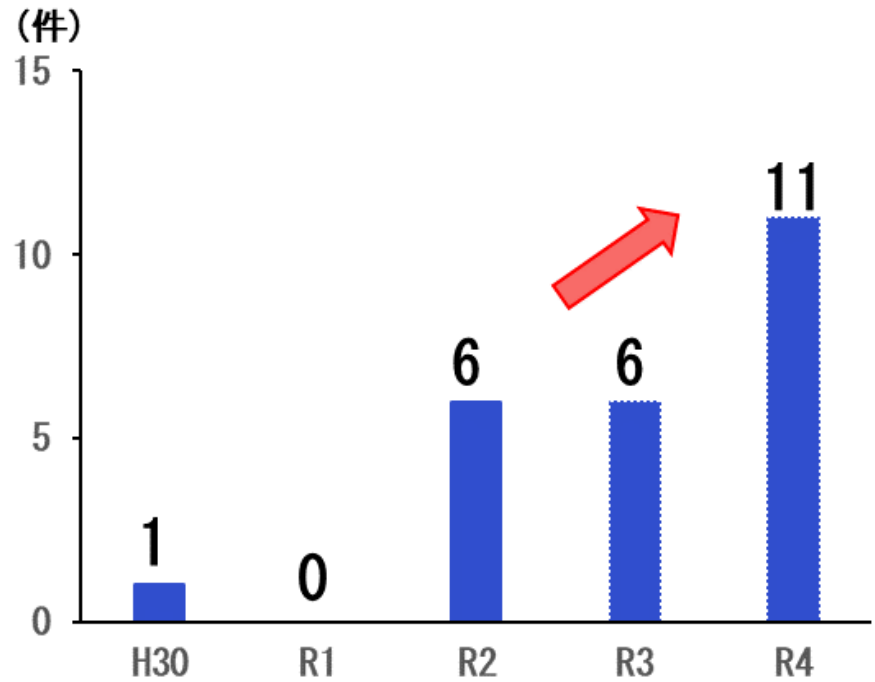


図2 県外からの相談の推移  
(R4.12末時点 いわき農林農業振興普及部調べ)

# (1) 支援・受入体制の整備に向けた活動

## 新規就農者が増加 (R4年度49名 (過去最多を記録) )

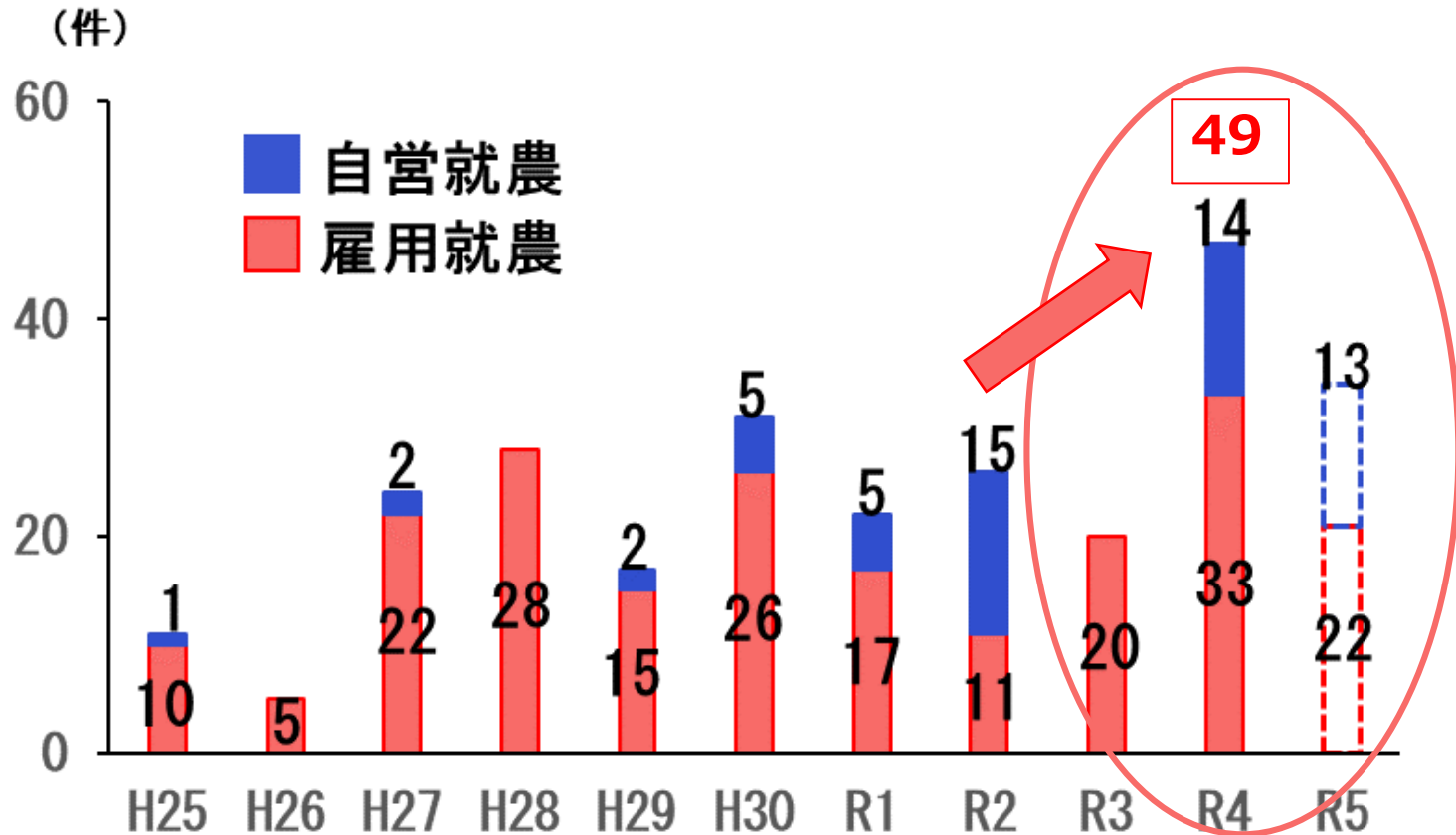


図3 自営就農・雇用就農の推移  
(青年農業者育成指導実態調査より)

## (2) 雇用就農促進に向けた活動

### 法人経営体の意識や収益が向上

#### ①訪問調査の成果

経営者と安定雇用に向けた意見交換

➡**従業員の育成手法の見直しや強化を検討**

事業の紹介・活用の提案

➡**一部法人が事業を活用した正社員の雇用を検討**

#### ②調査によって判明したこと

○雇用就農上の課題

「新人教育の整備」「収益がなく雇用できない」など・・

→O F F - J T 支援、収益向上支援

○離職の要因

「技術不足」「労働条件が悪い」など・・

→従業員向け研修会、優良事例の紹介

➡**普及が支援すべき課題が明確に**

## (2) 雇用就農促進に向けた活動

### ③法人経営体育成の成果

#### ○経営診断や重点個別指導

一部のトマト法人では、経費の見直しや単収向上により赤字経営から黒字に転換

➡**収益が向上**

#### ○従業員への研修会

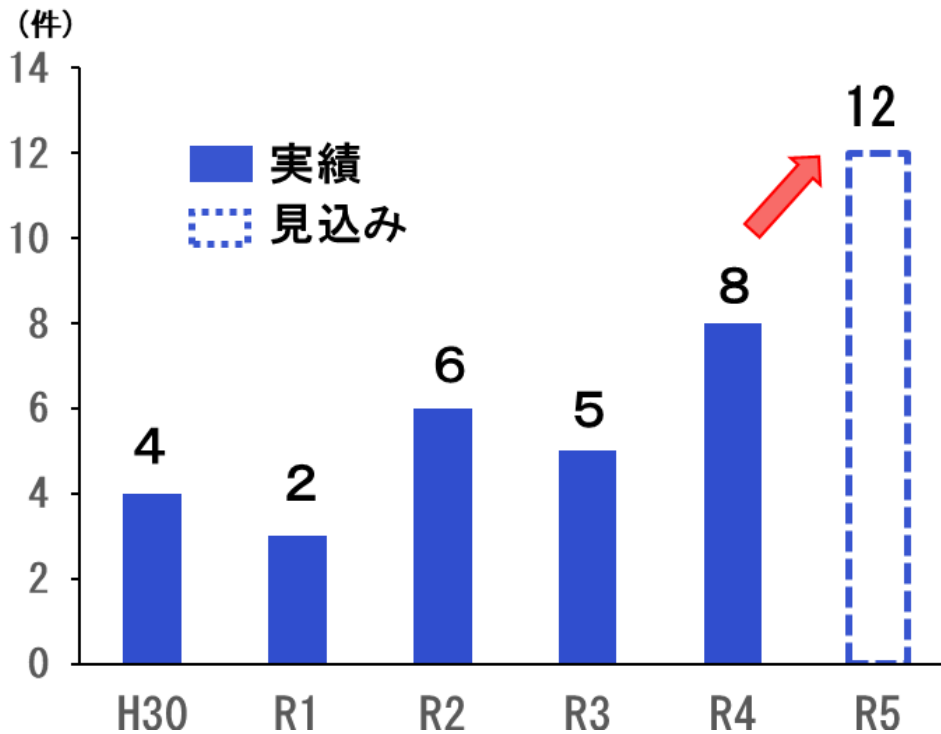
研修会翌日より、従業員の病害虫に関するコミュニケーションが活発になった

➡**従業員の意識向上**

**今後、雇用就農の安定化、従業員の定着が期待！**

# (3) 若い新規就農者の確保に向けた活動

## 農業法人へ就職する学生が増加



農業法人の情報や事業を知る機会ができた興味がある学生へ提案できるようになった

進路アドバイザー



図4 学生の農業法人への就職状況  
(いわき農林農業振興普及部調べ)

進路アドバイザー、就農サポート支援員  
就農コーディネーターとの連携が成果につながった！

# 今後の活動・方向性



# 今後の活動・方向性 その1

## (1) 関係機関・団体との連携した伴走支援、研修機関の充実

リモート就農相談の継続、多様化する相談ニーズへの対応

J A 専門部会を含めた研修機関整備への働きかけ

→ **就農相談や自営就農者の増加**

## (2) 自営就農者への支援強化及び拡充

○増加する自営就農者への技術習得・定着を支援

→ **自営就農者の経営安定・定着率向上**

○独立・親元就農を支援

### ・独立就農

生産部会の研修機関への誘導

※県内の優良事例 南郷トマト生産組合

### ・親元就農

家族経営協定による円滑な経営運営



次世代を担う仲間づくりセミナー  
(いわき梨部会)

## (3) 雇用就農者促進に向けた法人経営体の育成

調査で明らかになった課題（従業員技術不足による離農、収益の向上、新人教育の充実）への対応

→安定した雇用の創出、雇用就農者定着率の向上

## (4) 教育機関へ求人情報等の継続的な提供

学校サイドが求めるタイミングで必要な情報を提供

→農業法人へ雇用就農する意欲的な学生の増加



就農研修生と研修受入農家